

踏みだそう



成績表を効果的に活用するために

私がこれまで生徒に成績表を渡した時に、いくつか気になる反応がありました。

- ① 「この順位だと親に成績表を見せられない!!」
- ② 「平均点以上だったからよかった。」「平均点以下だったから悪かった。」
- ③ 「先生、〇〇位だったら、〇×高校に入れますか？」
- ④ 「〇〇さんに勝った。」「〇△さんに負けた。」



〔①について〕

「なんでこんな順位なの!!」と頭ごなしに叱りつける保護者はおられないと思いますが、叱る場合は、順位や得点に焦点を当ててではなく、テストに向けての学びの姿勢や取り組みに焦点が当たるように叱ってやってください。

〔②について〕

「平均点を上回る」という目標が誰にとっても適切とは言えません。「目標は小刻みに」という言葉もあります。自分の今の力を分析し、実現可能な目標設定をしてほしいと思います。

〔③について〕

私たちにもわかりませんので、このような質問には回答できません。

〔④について〕

良きライバルを持ち、お互いに切磋琢磨しながら力を高めていくことはよいですが、結果については当事者どうしで共有すればよいことで、周りの人に聞こえるようにこの発言することはあまり感心しません。

成績表は、自分の学習の取り組みを振り返り、これからの学びに生かすための材料にしてほしいと思います。

成績表を生徒に渡した時に、「よくなかった」という反省の弁を聞くことがありますが、反省には「よい反省」と「悪い反省」があります。

「よい反省」は、**結果が出るまでの自分自身の取り組みに焦点を当てた反省**です。今回の場合は、夏休みの学習への取り組み方や生活の在り方を振り返ることになります。夏休みの過ごし方に課題があるとするならば、その点を反省すべきであり、これからの学習の仕方を工夫するきっかけにしてほしいと思います。

「悪い反省」は、「順位が悪かった」「得点が悪かった」と**成績表を受け取った時だけ、落ち込んだり「次は頑張る」と宣言したりする反省**です。本当に学力を身に付けるためには、テスト直前だけ勉強をして目標点に到達しようという甘い気持ちを捨て、**継続的な学習の積み重ねを大切に**しなければなりません。

先日、夏休みの課題の点検をしました。同じ課題であるにも関わらず、取り組み方の違いに大きな差が見られました。すばらしい取り組み方として、**問題文と解答欄の間に折り目がついているもの**がありました。おそらく、一度記入した解答を折って見えないように隠して、**何度も解きなおしをした**のだらうと思いました。一方で、気になる取り組み方の中に、すべての問題に模範解答と同じ解答が書かれているものがありました。全問正解が本当ならすばらしいのですが、記述問題の解答が模範解答と一言一句同じだったり、時差の問題の計算メモがなかったりする辺りから、解答を丸写ししたのだらうな、という残念な気持ちになりました。もちろん、わからない問題を教科書で調べたり、解答を参考にしたりすることは大切な学びですが、最初から丸写しをするのはちょっと違うように思います。

次のテストは、10月15日(火)に行われる実力テストです。約1ヶ月の時間があります。どのように過ごすのか、学ぶのか、今回の成績表を材料にして考えてもらいたいと思います。